

めざす学校像

- 1 児童が生き生きと力いっぱい活動する学校
- 2 学びの場にふさわしい教育環境の整った学校
- 3 家庭・地域に理解され、協力を得て信頼される学校
- 4 教職員が学び合い、高め合い、協働する学校

人権尊重の精神を基に、生涯にわたる学習の基礎と社会や自然環境と共生できる資質と能力を培い、心身共に健康で、知性と感性に富んだ児童を育成するために次の目標を設定し、その実現を図ります。

ともに生きる子 ・人と ・社会と ・自然と

経営の基本方針

- 1 よいところをもっとよく【個性の伸長】
- 2 豊かなふれあい【教職員と児童、児童相互】
- 3 確かな児童理解【多様・多面的な理解】
- 4 きめ細かな指導【個に応じた見届ける指導】
- 5 公立学校として中野区の教育政策の具現化

教育目標を達成するための基本方針

- 家庭・地域社会・関係諸機関と連携…開校100周年を機会に、地域への理解を深め、地域に学び、地域に愛着がもてる『地域に開かれた』教育活動を推進します。
- 豊かな心の育成…身近な環境(人・社会・自然)に対する関心を高め、環境を大切にする態度や豊かに感じる力を育みます。
- 生命を尊重する心・他人を思いやる心の育成…道徳科を中心とした道徳教育と様々な人々との交流や体験的な学習を通して人を思いやる心を育みます。
- 特別支援教育の推進…担任と巡回指導(きらりルーム)担当教員、特別支援教室専門員等が連携し、個に応じた支援を行います。
- 保育園・幼稚園・中学校と連携…中野東中学校学区の4校園が「育てたい15歳の子ども像」を見据えた取組の充実を図ります。
- 健康・体力の増進…運動の楽しさを味わわせて、日常的に運動に親しむようにする。食育指導・保健指導を充実させ、健康と体力の増進を図ります。

○指導の重点(人権・道徳教育を全ての教育活動の基盤とします)

○礼儀正しく勤勉で、心身ともに健康な児童の育成に努めます

学習指導

- 分かりやすい授業を目指します。
- 1 分かる喜び、学ぶ楽しさが実感できる授業の充実
 - ・課題解決型の学習過程の構成
 - ・めあてを明確にした授業の展開
 - ・校内研究による授業改善
- 2 個に応じた指導の充実
 - 学習が分からない児童0へ
 - ・1、2年算数 少人数指導(講師)
 - ・3～6年算数 少人数指導(担当教員)
 - ・3～6年理科指導(専科・講師)
 - ・補充教室の充実(任期付短時間教員)
 - ・夏季休業中の補習(各学年5日間)
 - ・朝学習(塔山タイム)の活用
 - ・電子ドリル・テストの活用
- 3 1人1台端末の効果的な活用
- 4 楽しみながら取り組む体力の向上
- 5 道徳を通じた心の教育の充実

生活指導・進路指導

- 思いやりの気持ちを大切にします。
- 1 塔山ルール(学習・生活)規律の徹底と基本的な生活習慣の定着
 - ～学年・学校で共通した取組～
- 2 差別・偏見の根絶、互いの違いや異なり・よさ、多様性を認め合う人権教育
- 3 いじめ、不登校、問題行動、人権侵害等への早期発見と迅速、適切な対応
- 4 スクールカウンセラー・心の教室相談員の活用
- 5 SNS、iPadルールを活用したICTの適切な活用
- 6 安全・安心な学校生活を送るため危険を予知・回避する能力の伸長

特色ある教育活動

- 豊かな人間性を養います。
- 「学び合い」「かかわり合い」「自然愛」
- 1 地域人材・施設を活用した体験活動等の充実
 - 開校100周年を契機に地域の方々から学ぶ機会の創出
- 2 異学年・異年齢交流の推進
 - 自主性、責任感、思いやりの心の育成のために、なかよし班活動、異学年交流、委員会・クラブ活動、保・幼・中、高齢者との交流
- 3 地域、中野東中学校区内の「育てたい15歳の子ども像」の共有、保幼小連携教育の推進
- 4 話し合い、伝え合い、考え合いなどの学び合う力、表現力の育成

特別支援教育 個別支援の充実

- 共生社会を目指します。
- 1 特別支援教育校内委員会
 - ・校長・副校長・特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー、心の教室相談員、養護教諭、担任等で構成
 - ・特別な支援を必要とする児童への具体的な手だての検討
- 2 外部関係機関との連携
 - ・SSW、就学相談、児童相談所(子ども家庭支援センター)、幼稚園、保育園、中学校等
- 3 特別支援教室担当教員、特別支援教室専門員、支援員、EAの活用
 - ・学級担任と情報共有、連携強化
 - ・特別な支援を必要とする児童の把握・理解・指導
 - ・個に応じた支援の充実